

新型コロナウイルス感染に関する HOPS からのお願い

公共政策大学院長 遠藤 乾

2020年2月28日

現在コロナウイルスの流行が拡大し、北海道でも感染者が増えています。ただ、このウイルスによる致死率は2%ほどで、大事なことはパニックを起こさず、冷静に対処することです。現在政府や大学は対策を立てていますが、まずは HOPS 内では、以下のことを徹底してください。状況は刻一刻と変化しているため、こまめに連絡をし、状況説明や対策について発信していきます。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

【コロナウイルスの症状】

⇒以下の症状がある場合は、必ず下記の札幌市保健所または札幌市新型コロナウイルス相談口に連絡すること

- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く（解熱剤を飲み続けなければならない方も同様）、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）など
- ・高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方で、これらの状態が2日程度続くなど

※一般学生・留学生問わず、連絡がうまく取れない、何か不安な事があった場合は、遠慮なく学生委員・池直美講師まで連絡をしてください。ウイルスの前では、我々全員平等で、だれでも感染する可能性があります。もし気になる症状が出た場合は、迷惑をかけるのではないかなどとか一切気にせず、連絡をください。

池携帯: 090-6266-7043、080-4047-7284 メールアドレス: naomi.chi@gmail.com

LINE: naomi_rookie Wechat: Naomi_Hokkaido

【対応策】

- ・体調管理：37.5度の熱が出た場合、絶対に無理しないこと。免疫力を下げないために、十分な睡眠、適度な運動、栄養バランスの整った食事、極度な飲酒などを避けること。
- ・手洗い（20秒かけて、手の平・手の甲、爪、手首までしっかり洗うこと）、うがい、消毒、マスク着用、アルコール消毒も有効。
- ・人込みを避けること（ラッシュアワー、パーティー、イベントなどを避ける）。
- ・不用意に病院にいかないこと、症状が出たら下記に連絡をして、指示に従うこと。
- ▶札幌市保健所（救急安心センターさっぽろ）：011-272-7119（#7119）（24時間対応）
- ▶札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口：011-632-4567（受付9時～21時）
- ・症状が出た場合、自分の体調の変化や行動範囲などを記録しておくこと（万が一陽性となった場合は、治療や拡大防止に役に立つ）